

くずは

2024. 11. 10
発行 くずはの家
〒257-0031 秦野市曾屋 1137
TEL&FAX 0463(84)7874

今月の話題

「葛葉緑地に侵入する外来昆虫」

葛葉緑地では2006年から現在までに、数種類の外来昆虫が確認されています。最も衝撃的だったのは、過去の写真から2006年に葛葉緑地に侵入が確認されたムネアカハラビロカマキリです。中国南部から日本に侵入したこのカマキリは、元々緑地内に生息していた在来のはらびロカマキリを一掃してしまいました。また、葛葉緑地を訪れた専門家から情報がもたらされることもあり、クスベニヒラタカスミカメという2015年に中国から兵庫県に侵入した体長7～8mmのカメムシも葛葉緑地のシンボルツリーのクスノキから見つかっています。また、今では完全に定着してしまった感があるアカボシゴマダラというタテハチョウは中国原産の蝶で、心ない蝶マニアの“ゲリラ放蝶”で1998年に神奈川県鎌倉市周辺から広がりました。また侵入経路ははっきりしませんが、2022年11月には中国、台湾に生息するムシヤクロツバメシジミというシジミチョウが葛葉川河川敷から見つかっています。

今回、葛葉緑地の周辺で外来の昆虫が、また1種類確認されました。クロマダラソテツシジミという小さな蝶で、10月に昆虫分科会の方が発見されました。和名にソテツとあるように、ソテツの新芽を食草とします。ただし、葛葉緑地にはソテツがないため、緑地内では発生していませんが、どうやら緑地周辺の個人宅の植栽から発生しているようです。

この蝶は、従来までの記録ではインドから中国南部、

インドシナ半島、マレーシア、インドネシア、フィリピン、台湾に分布していました。その後、2000年代に入り南西諸島や、関東地方でも見られるようになりましたが、休眠期を持たないため低温に弱く15℃程度でも、卵や幼虫の死亡率が高いと言われています。また、蛹でも5℃以下になると死滅すると言われており、日本国内に於いては南西諸島以外では定着していないと思われます。



クロマダラソテツシジミ

一世代にかかる時間が非常に短く、気温が25～32℃の場合、なんと2週間足らずで卵から成虫になってしまいうそうです。そのため、気温の高い時期に飛来した蝶はソテツの新芽に産卵し、そこで短期間のうちに成長して、順次移動していきます。そうして分布を広げていくのですが、秋が過ぎ気温が低下する頃には死滅してしまい、定着できません。このように分布を拡大するものの、冬の寒さが障壁となって定着できない拡散を“無効分散”と呼びます。毎年夏になると現れる赤とんぼにしてはやけに色の薄い、ウスバキトンボというオレンジ色のとんぼも、この無効分散をすることで有名な昆虫です。クロマダラソテツシジミは小さな蝶の飛翔力と、食草がソテツという限られた植物であることが相まって、それほど分布が拡大していませんが、温暖化の影響もあるのでしょうか、じわじわと分布を広げているようです。

文：くずはの広場所長 高橋孝洋
写真：えのきの会昆虫分科会 竹内邦安氏

行事報告 10/26(土)・27日(日) 秋のつどい を開催しました！



とべとべ小鳥！



谷間ほぐり



ひおこし体験



まゆ玉飾り作り

秋のつどい26日「みんなであそぼう」(参加者211人)
参加者の声 ・もりりん音楽会からいろいろな体験や遊びができて楽しくすごすことができました。
・ひさしぶりに参加しました。近くでこれほど自然にしたいめて、子どもが大満足できる場は本当にありがたいです!!

秋のつどい27日「みんなでつくろう」(参加者207人)
参加者の声 ・作品を自分で自由に作れるところが想像力が引き立てられて楽しかった!!
・工作コーナーがたくさんあって、楽しかったです。日頃できない経験ができてうれしかったです。

くずはの家 行事案内

昼の行事：小学2年生以下は保護者同伴、夜の行事は小学生以下は保護者同伴

日 時	テーマ・講師	対象・定員	受付開始
11月23日(土・祝) 9:30～11:30	知ってあそんで作る「どんぐりはおもだち」 えのきの会植物分科会	3歳以上20名	11月1日 受付終了
11月29日(金) ① 9:30～12:00 ② 13:30～16:00	自然素材のクリスマスリース作り 講師：石井ふさ枝氏 協力：ボランティアの会	一般 各回20名 (費用：700円)	11月1日 残りわずか
11月30日(土)～ 12月25日(水)	自然素材のクリスマス飾り ちっちゃな展示会 ★今年もミニリースキットを100円でお分けします。	くずはの家廊下 ギャラリーにて展示	ご自由にご覧ください
12月7日(土) 10:00～11:30	ちびっこあつまれ！ ～クリスマス飾りづくり～ くずはの広場職員・ボランティアの会	3～6歳の未就学児と その保護者20名	11月15日
12月14日(土) 9:30～11:30	冬の野鳥観察 えのきの会野鳥分科会	小学生以上20名	12月1日



切絵とこんちゅう工作



葉っぱのたたき染めマスク作り



もりりんと森の音楽隊



秦野名水喫茶

行事へのお申し込み・お問い合わせは
電話・FAX・メールで

TEL & FAX 0463(84)7874

E-mail: kuzuhaie@city.hadano.kanagawa.jp

11月の休館日

5日、6日、11日、18日、25日、26日

12月の休館日

2日、9日、16日、23日、

29～31日

くずはの家HPはこちらから→

ホームページ

QRコード

QRコード

メールアドレス

QRコード

QRコード

秦野ガス・ネイチャーパークくずは

くずはの家のボランティア活動

10月、11月初めの活動

定例会：10月は、秋のつどいやクリスマスリースの準備に大忙し。クラフト材料の準備や広場の整備などを念入りに行いました。そして秋のつどい本番、お客様のご案内や作成指導などをがんばりました！たくさんの方と触れ合うことができて嬉しかったです。市民の日にも出店し用意したミニリースはお昼には完売しました。
花壇の会：10/4(金)は、雨のため中止でした。
とんぼのせせらぎ：10/24(木)は、8月の大雨で大きく削り取られてしまったほとたるの里の水路の再整備を行いました。 ↓市民の日の様子

☆これからの活動

定例会：11/21(木)、

12/1(日)、12/19(木)

花壇の会：12/6(金)

とんぼのせせらぎ：

11/28(木)、12/26(木)



この活動は一般財団法人セブン・イレブン記念財団の助成を受けて実施しています。

セブン・イレブン
記念財団

くずはの広場観察路マップ

2024年11月1日調べ

①～⑪には観察板があります。
回ってみましょう！

凡 例	
△	つぼみ
▲	咲き始め
○	開花
◎	満開
●	咲き終わり
◇	実
◆	熟した実

岸が削られ渡れないため未調査
ほたるの里

葛葉川

うぐいすの道

けやきの道

ほたるの道

くすのき広場

どんぐり山

くすはの家

せんじょう池

駐車場

10月の野鳥

(10月1日～11月1日調べ)

- 1、キジバト
- 2、カワウ
- 3、アオサギ
- 4、イソシギ
- 5、トビ
- 6、オオタカ
- 7、カワセミ
- 8、コゲラ
- 9、アオゲラ
- 10、リュウキュウサンショウクイ
- 11、モズ
- 12、オナガ
- 13、ハシボソガラス
- 14、ハシブトガラス
- 15、ヤマガラ
- 16、シジュウカラ
- 17、ヒヨドリ
- 18、ウグイス
- 19、エナガ
- 20、メジロ
- 21、ジョウビタキ
- 22、イソヒヨドリ
- 23、キセキレイ
- 24、セグロセキレイ
- 25、イカル
- 26、アオジ
- 27、コジュケイ
- 28、ガビチョウ

10月の昆虫

アサギマダラ

カブトムシの仲間

カブトムシ幼虫
オオセンコガネ
クロウリハムシ
ウリハムシ
ノコギリヒラタムシの仲間
ムネアカオオクロテントウ
オジロアシナガゾウムシ

チョウ・ガの仲間

アサギマダラ
ツマグロヒョウモン
ルリタテハ
キタテハ
クロノマチョウ
キタキチョウ
ヒメジャノメ
コムシジ
イチモンジセセリ
テングチョウ
ウラギンシジミ
ツバメシジミ
ヤマトシジミ
ルリシジミ
ムシヤクロツバメシジミ

カメムシの仲間

ホソヘリカメムシ
チャバネアオカメムシ
キマダラカメムシ
マルカメムシ
クスベニヒラタカミカメ

アブラゼミ
ミンミンゼミ
ツクツクボウシ
ツマグロオオヨコバイ
アザミクロヒゲナガアブラムシ

バッタの仲間

ショウリョウバッタモドキ
オンブバッタ
ツチイナゴ
コバネイナゴ

トンボの仲間

クロスジギンヤンマ
ミヤマアカネ
オオアオイイトンボ

ハチ・アブ・ハエの仲間

クロオオアリ
クロヤマアリ
クロナガアリ
アミメアリ
アメリカミズアブ

その他の仲間

オオカマキリ
ムネアカハラビロカマキリ
トゲナナフシ

くずはの広場トピックス

カメムシの天敵…10月2日

クズの葉に、黒い体に赤い頭と胸が目立つムネアカオオクロテントウがいました。クズに集まるマルカメムシの幼虫を食べる外来種です。身近なクズの中でも小さな食物連鎖の世界が見えてきました。

増えた？モクスガニ…10月13日

飼育しているモクスガニの水槽を覗いてみたら…2匹に増えていました！？なんともう1匹に思えたのは抜け殻だったのです。そして新しい体に生える毛は真っ白で、何とも神秘的なものでした。

葉っぱのレストラン…10月30日

アリたちがアカメガシワの葉の裏でせっせと蜜集め。花の少ないこの時期、葉に付いた蜜腺は貴重な餌場です。



セキヤノアキチョウジ



モクスガニ